

高性能林業機械化促進基本方針改定の概要（現行、改定後対照表）

| | 現行方針 | 改定後 |
|-----------|---|---|
| 基本的考え方 | <ul style="list-style-type: none"> ・チェーンソー、集材機等による作業システムから高性能林業機械作業システムへの転換 | <ul style="list-style-type: none"> ・小型軽量、低価格化を図った高性能林業機械の開発、普及による林業経営コストの縮減 ・森林の多様な機能の持続的な発揮と環境負荷低減への配慮 ・間伐等の非皆伐作業や地域の作業条件にきめ細かく対応した新たな高性能林業機械作業システムの構築及び導入 ・機械による一貫した育林作業体系の構築及び導入 |
| 高性能林業機械開発 | <ul style="list-style-type: none"> ・欧米で発達した高性能林業機械（フェラーバンチャ、スキッド、プロセッサ、ハーベスタ、タワーヤーダ、フォワーダ）の国産化 | <ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地、非皆伐作業、環境負荷低減に対応した高性能林業機械の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・間伐用小型伐倒機械、下刈り機械等小型軽量化、低価格化を図った高性能林業機械の開発 ・森林調査機械等トータルコスト低減のための高性能林業機械の開発 |